


講座詳細

知っている人だけが上手いく！ 改善のためのPDCA講座


PDCAの仕組み



Plan : 計画を立てる
Do : 実行する
Check : 確認する
Action : 改善する

多くの人が知っている言葉
しかし・・・
上手に回らないことも多い

? どうしてPDCAが回らないのか？

 PDCAの仕組みを理解していないから

失敗に終わる原因となること

失敗に終わる原因となることは・・・

- ① 情報不足
- ② 慢心
- ③ 思い込み
- ④ 面倒

様々な状況で失敗を招く要因となる

4つの状態にならないための行動が大切

正しくPDCAを回せば **物事は徐々に良くなっていく**

着実に実行してPDCAを上手に活用

講座の内容解説

改善を実施する上で欠かすことができないことがPDCAです。PDCAを知っていても上手に使えない人も多いためです。ここではPDCAの仕組みからPDCAが止まりにくくなるために必要なこと、そして各段階で発生することや改善するために必要な考え方を学ぶことができます。PDCAは改善をする際には必ず必要となるものです。上手に回すポイントを理解できる内容です。

ココがキャリアアップに繋がる！

PDCAは改善はもちろんのこと、そのほかの場面でも必要とされるものです。PDCAを上手に回すことができると様々なことが時間の経過と共に発展していきます。PDCAが回るに従って自身のスキル向上はもちろんのこと今以上の成果を出すことができるようになります。PDCAのポイントを理解し、自身の発展につなげられるようにしていきましょう。

■ カテゴリ： 職能別訓練

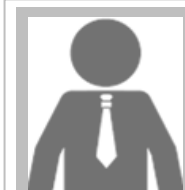
■ 学習時間： 合計 1 時間

■ 講義タイトルと学習時間

講義タイトル	学習時間(分)
UNIT1 PDCAの仕組み	9分
UNIT2 PDCAを止めないためには	14分
UNIT3 実行時 (D) で発生すること	11分
UNIT4 確認時 (C) で発生すること	8分
UNIT5 改善 (A) はスピードが大切	5分
UNIT6 改善 (A) は考え方が大切	11分
確認テスト	2分

Point

- PDCAの基本から学ぶことができる
- PDCAが止まる原因を学ぶことができる
- 各段階でのポイントを学ぶことができる



担当者様のご意見
結果を出すために最低限知っておきたい内容です